

令和6年度 健康保険組合予算編成状況—早期集計結果について—

【概要版】

令和6年4月23日
健康保険組合連合会

I. 令和6年予算編成（早期集計結果）の概要

1. 6年度予算編成における経常収支差引額は▲6,578億円の赤字となる見通し。
2. 保険料収入は、対前年度予算比+4.5%（+3,811億円）の増加。被保険者数の堅調な伸びとともに、賃金引上げの追い風・効果を漸次的に反映。
3. 保険給付費は、対前年度予算比+6.2%（+2,945億円）の増加。新型コロナウイルス感染拡大下での医療費の高い伸びや著しい変動が懸念材料となり、例年に比べ高めの見込み。
4. 高齢者拠出金は団塊の世代が75歳に到達する影響により+4.6%（+1,701億円）の増加。

【月額・賞与額、保険料率、その他の主な項目】

- ① 標準報酬月額は+1.9%増の39万1,372円、標準賞与額は+3.0%増の119万7,287円。元年度（新型コロナウイルス感染拡大前）に比べ月額+3.5%、賞与額+1.5%と回復・改善へ。
- ② 平均保険料率は+0.05ポイント増の9.32%（単一組合：9.20%、総合組合：9.87%）。実質保険料率は+0.17ポイント増の10.27%。なお、料率を引き上げた組合は150組合、引き下げた組合は75組合。据え置いた組合は1,127組合。（*回答1,352組合ベース）
- ③ 被保険者数は+1.1%増（+18万2,466人）の1,686万6,761人と過去最高。元年度に比べ+2.7%増（+44万人）。とくに女性が+8.9%（+49万人）と著しく増加。
- ④ 高齢者拠出金のうち、前期高齢者納付金は+5.7%増（+866億円）の1兆6,003億円、後期高齢者支援金は+3.8%増（+835億円）の2兆2,769億円。
- ⑤ 加入者の健康維持・増進のための保健事業費は+1.8%増（+81億円）の4,664億円。

II. 令和6年度予算編成に対する考え方（現時点の情勢を踏まえた論点）

- ◎ 例年、予算編成は、収入・支出とも前年度の上半期データに基づいて1～2月に作業を行うため、その後の実績の動向は反映していない。
- ◎ こうした時期的な制約に加え、6年度の予算編成は、以下の点から、例年になく極めて難しい作業となり、全体としてかなり厳しい結果となっている点に留意すべきである。

- 1) 保険料収入は、33年ぶりと言われる6年春闘の高い回答結果が反映されておらず、大幅な賃上げに期待。なお、賃上げ1%は、保険料収入+800億円程度に相当。
- 2) 保険給付費は、5年度下半期以降、伸び率が鈍化しており、6年度もその傾向が続く見込み。
- 3) 上記1) 2) のようなプラス要因は見込めるものの、高齢者拠出金の増加は続いており、全体として厳しい収支状況は続いている。

Ⅲ. 今後の財政見通しについて

	令和5年度 <予算>	令和6年度 <予算早期集計>	令和5年度見込 【*5年9月推計】 (対R4比実績伸び率)
経常収入計①	8兆6,162億円	9兆0,053億円(4.5%)	8兆7,700億円(2.0%)
保険料収入	8兆5,039億円	8兆8,851億円(4.5%)	8兆6,600億円(2.0%)
経常支出計②	9兆1,783億円	9兆6,631億円(5.3%)	9兆1,300億円(7.8%)
保険給付費	4兆7,811億円	5兆0,756億円(6.2%)	4兆7,900億円(6.6%)
高齢者拠出金	3兆7,073億円	3兆8,774億円(4.6%)	3兆6,500億円(7.2%)
保健事業費	4,583億円	4,664億円(1.8%)	4,600億円
経常収支差引額 (①-②)	▲5,621億円	▲6,578億円	▲3,600億円
平均保険料率	9.27%	9.32%	9.27%
実質保険料率	10.10%	10.27%	9.66%

*) 令和5年度見込は5年9月14日プレス発表「令和4年度健保組合決算見込と今後の財政見通し」より抜粋。

令和5年度の見通し（令和5年度予算と5年9月推計との比較）

① 保険料収入については、標準報酬月額が9月推計の+1.5%増に対して、5年春闘の結果が反映された現時点での実績見込みは+1.7~1.8%増とやや上振れで推移しており、その結果、予算見込額より増加することが考えられる。

② 保険給付費については、5年度の医療費が新型コロナに加え、近年にないインフルエンザや呼吸器系疾患の流行により、上半期+5.5%増と高い伸びで推移していたが、直近10月~6年1月は+3.8%増と鈍化傾向にあることから、9月推計と同等、もしくは、やや下振れすることが見込まれる。

③ 以上のような収入・支出面での変動により、5年度の経常収支差引額の赤字は縮小することが見込まれる。

④ また、被保険者数は女性の伸びに加え、60歳~69歳の被保険者が+5.2%（+8.3万人）と大きく増加（※5年10月末現在）。社会保険適用拡大により、短時間労働被保険者数は+33.4%増の33万8,876人（※5年3月末現在）となり、保険料収入にとってプラスとなる好材料も多い。

【参考】年齢階級別 男女別 被保険者数・被扶養者数 対前年同月比伸び率(%)：5年10月末現在

	被保険者			被扶養者		
	計	男	女	計	男	女
0-4歳	-	-	-	-4.0	-4.0	-4.1
5-9歳	-	-	-	-1.9	-2.0	-1.9
10-14歳	-	-	-	-0.7	-0.7	-0.7
15-19歳	1.0	0.0	3.2	-0.6	-0.5	-0.6
20-29歳	0.9	0.9	1.0	-2.2	-1.4	-3.0
30-39歳	-0.6	-1.3	0.7	-8.2	-1.6	-8.5
40-49歳	-2.3	-3.0	-0.7	-8.0	1.1	-8.2
50-59歳	3.2	2.0	5.6	-0.8	4.0	-0.9
60-69歳	5.2	3.8	9.0	0.5	3.2	0.4
70歳以上	-2.1	-2.7	0.6	-9.1	-12.2	-8.9
(構成比)	(100.0%)	(64.8%)	(35.2%)	(100.0%)	(34.9%)	(65.1%)

資料：健康保険組合連合会「令和5年度 年齢階級別加入者数調査（令和5年10月末現在）」